

大会名 Competition	第31回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-103	Year Month Day Time 2018 年 5 月 3 日 12 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB										
市立船橋	<table border="1"> <tr><td>20 1st</td><td>23</td></tr> <tr><td>14 2nd</td><td>28</td></tr> <tr><td>18 3rd</td><td>30</td></tr> <tr><td>29 4th</td><td>20</td></tr> <tr><td colspan="2">E P</td></tr> </table>	20 1st	23	14 2nd	28	18 3rd	30	29 4th	20	E P		明 成
20 1st	23											
14 2nd	28											
18 3rd	30											
29 4th	20											
E P												
81 ●		101 ○										

主審:Crew chief  
福岡敏徳 長崎  
副審:Umpire  
村上智志 山形  
京極幸村 秋田  
テーブルオフィシャル:Table officials  
能代高男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	葉丸 侑平	CAP	11	1	4	0	3	4	／	古川 空音	CAP	4	0	2	0	0
5		下川 拓海		-	-	-	-	0	5	×	川村 亮汰		25	1	10	2	3
6	／	永野 雄大		2	0	1	0	1	6	×	越田 大翔		16	2	5	0	2
7	×	大澤 響生		21	5	2	2	1	7	×	木村 拓郎		15	0	6	3	3
8	×	大川 颯斗		27	7	1	4	3	8	／	山内 シャリフ和哉		0	0	0	0	1
9	／	碓水 真吾		4	1	0	1	4	9	／	井上 耀		3	1	0	0	1
10	／	衛藤 崇		0	0	0	0	1	10	×	田中 裕也		19	3	4	2	3
11	／	佐藤 健人		2	0	1	0	1	11	×	浅原 紳介		2	0	1	0	0
12		佐藤 伊織		-	-	-	-	0	12	／	清水 晃		0	0	0	0	0
13	×	和田 将英		4	0	2	0	0	13	／	喜多 陸登		0	0	0	0	1
14	／	三上 颯斗		4	0	2	0	1	14	／	一戸 啓吾		5	1	1	0	0
15	×	楊 博		6	0	2	2	3	15	／	菱倉 崇人		0	0	0	0	0
16		樋口 陸		-	-	-	-	0	16	／	小川 祥英		2	0	1	0	1
17		浅野 春翔		-	-	-	-	0	17	／	加藤 陸		10	0	4	2	1
18		谷戸 祐太		-	-	-	-	0	18	／	河合 海輝		0	0	0	0	0
コーチ		齊藤 智海						0	コーチ		佐藤 久夫						0
アシ		井上 知徳						0	アシ		高橋 陽介						0
合 計				81	14	15	9	18	合 計				101	8	34	9	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

#### Score ranking [Team]

1	27	33.33%	大川 颯斗
2	21	25.93%	大澤 響生
3	11	13.58%	葉丸 侑平

1	25	24.75%	川村 亮汰
2	19	18.81%	田中 裕也
3	16	15.84%	越田 大翔

#### Score ranking [Game]

1	27	大川 颯斗	市立船橋	2	25	川村 亮汰	明 成	3	21	大澤 響生	市立船橋
---	----	-------	------	---	----	-------	-----	---	----	-------	------

1Qの立ち上がり、両チームともアップテンポなオフェンスを見せる。その中で明成#10田中が2本の3Pを決めて2-8と序盤にリードを奪う。市立船橋は#7大澤が3本の3Pを含む13得点をこのQのみで決めて17-14と中盤にかけて逆転する。しかし、20-14から明成が9連続得点で20-23と再びリードして1Qを終える。

2Q、明成のオフェンスの勢いが止まらない。12連続得点で22-35と一気に差を広げる。市立船橋はメンバーチェンジを多用して打開を図るが、上手いかずに残り6:24でタイムアウト。タイムアウト明け、市立船橋#8大川が3Pを決めるなどの反撃を見せるが、明成は再び12連続得点の時間帯を作り、リードを広げる。明成は、#5川村、#10田中が素早いドライブで次々得点し、33-51で2Qを終える。

3Qになると、明成が今度はディフェンスのギアを上げる。高い位置から#5川村、#10田中がスティールを連発して得点につなげる。市立船橋も3Pシュートで追いつくが、単発で終わってしまい、なかなか点差を詰めるまでには至らない。終盤には、明成#17加藤がスピンムーブからバスケットカウントを奪うシュートを決めるなど得点を81点まで伸ばし、51-81の30点差をつけてこのQを終える。

4Q、メンバーチェンジを繰り返す明成に対して市立船橋は#4葉丸、#8大川が3Pで攻勢をかける。#15楊もフックシュートを決めるなど内外のバランスが良くなる。終了間際には、明成のお株を奪うような高い位置からのスティールを連発して得点を続けた市立船橋は、81-101とビハインドを20点まで詰めてゲームを終えた。